News Release

2026 年 11 月 13 日
株式会社博報堂ＤＹホールディングス
株式会社博報堂テクノロジーズ

博報堂ＤＹグループ、AI との対話で市場の理解を深め、新たな争点を探索する「市場洞察 AI エージェント」を開発

―人と AI の対話で新たな問いを見つけ、社員の創造性を広げる―

株式会社博報堂ＤＹホールディングス（東京都港区、代表取締役社長：西山 泰央、以下 博報堂ＤＹホールディングス）と株式会社博報堂テクノロジーズ（東京都港区、代表取締役社長 COO：田中 雄三）は、AI 活用と生活者発想を掛け合わせ、得意先のビジネスの拡大を支援する発想支援基盤「生活者発想プラットフォーム」の新たな機能として、「市場洞察 AI エージェント」の社内利用を開始します。

本エージェントは、企業の統合報告書等の公開情報を独自の AI 技術で構造化・解析し、市場で企業が競い合うテーマ（争点）や各社の戦略、外部環境の変化を効率的に把握することを可能にします。また、統合マーケティングプラットフォーム「CREATIVITY ENGINE BLOOM（クリエイティビティ エンジン ブルーム）」（以下 BLOOM）の各プロダクトと連携し、AI と人が対話を重ね、新たな問いやアイデアの発見を支援。戦略開発の起点に市場の争点と企業特性の視点を取り入れることで、クライアント企業に向けた戦略・施策立案の説得力と精度を高め、マーケティング・コミュニケーション業務の効率化と高度化を推進します。

◆開発の背景

これまで市場の争点や企業特性の強みを見出すには、統合報告書やニュース、調査レポートなどをプラナーが丹念に時間をかけて読み解き、情報を統合する工程が不可欠でした。しかし、ビジネスの意思決定スピードが加速する中、リサーチにかけられる時間は限られつつあり、かつ手に入れやすい情報だけでは戦略や施策が同質化しかねない、という懸念も顕在化し始めています。また、情報を整理するだけではなく、そこから問いを立て、視点を変えながら考えを深めることが、生活者発想の起点になります。

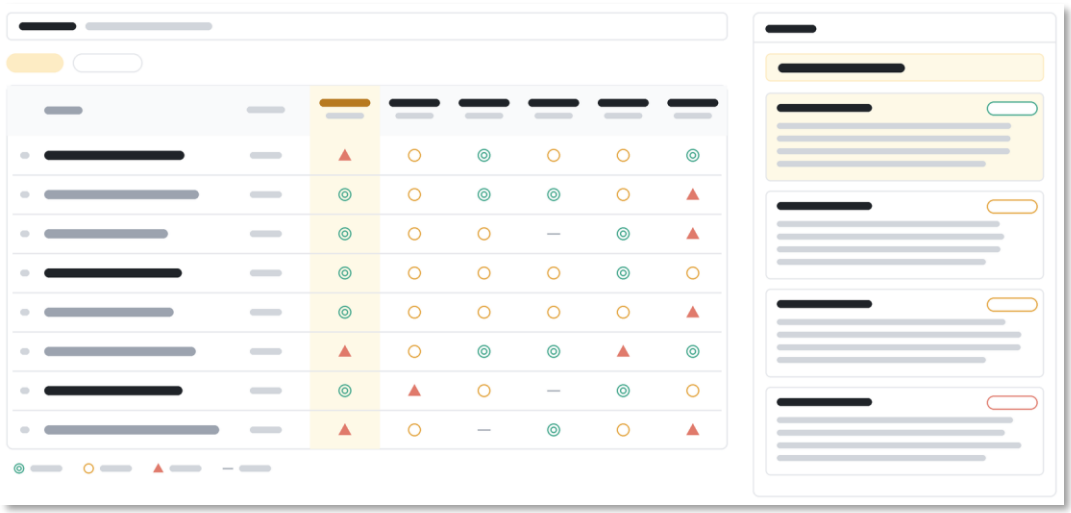
◆「市場洞察 AI エージェント」概要

「市場洞察 AI エージェント」は、生活者発想を AI によって拡張する発想支援基盤「生活者発想プラットフォーム」において、市場動向を把握し様々な業界のこれからを発想する新たな機能です。自社のブランドと分析したい商品カテゴリを設定するだけで、企業が投資家に向けて自社の戦略を説明した統合報告書を中心とする公開情報を収集し、独自の AI 技術によって構造化。「争点一覧」「星取表」から市場・業界を俯瞰し、「SWOT 分析」「PEST 分析」「企業理解・ブランド詳細」から外部環境変化や各社の戦略・特性を読み解き、さらに AI との対話を通じて、企業が取り組むべき課題や争点、問いやアイデアを探索、新たな戦略を描く支援をします。すべての記述は出典まで辿ることができ、根拠をもって検討を進めることが可能です。



・市場/業界を俯瞰する：市場の争点と、各社の注力領域を一覧に

自社のブランドと分析カテゴリを設定すると、AI が競合を選定し、各社の統合報告書や最新の公開情報から、市場で各社が競い合うテーマ（争点）を「争点一覧」にまとめます。争点ごとの各社の取り組みを◎○△で示す「星取表」で、自社が優位・不利な争点や、競合が手をつけていない空白地帯を可視化します。



※画面はイメージです

・企業特性を読み解く：外部環境の変化と、各社の戦略を整理

「SWOT 分析」「PEST 分析」で、自社の強み・弱みや、政治・経済・社会・技術など外部環境の変化を整理し、攻めどころと障壁を分析します。「企業理解・ブランド詳細」では、各社の中期経営計画や経営層のコメント、ブランドごとの戦略から、競合が何を語り、何に投資しているかを把握します。さらに歴史や文化も踏まえて、「なぜ自社なのか」を読み解きます。

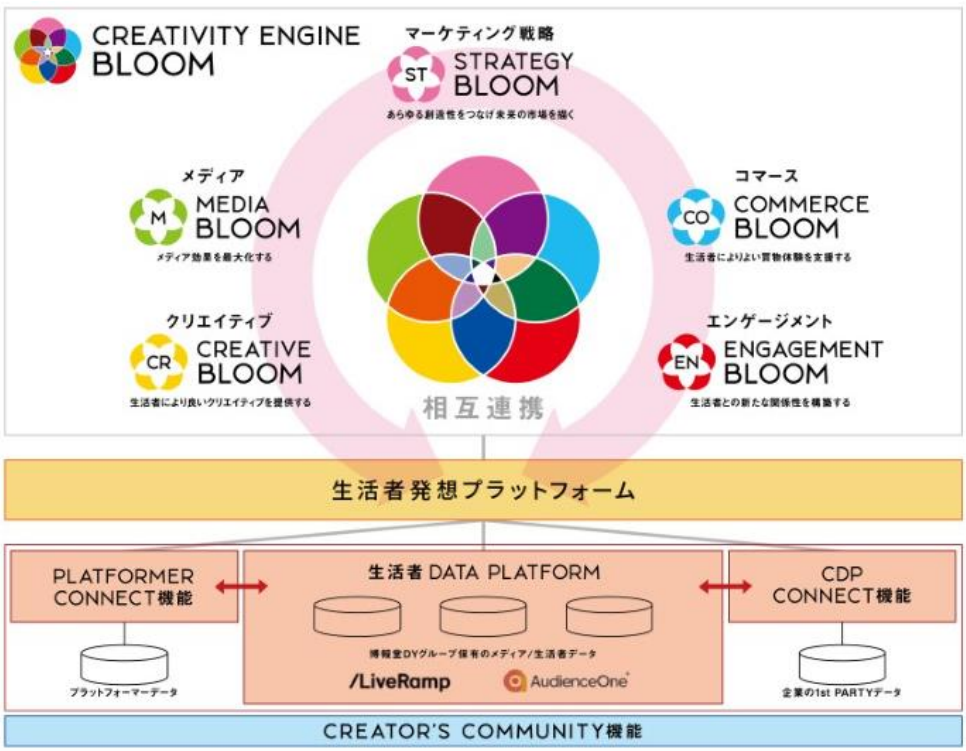
・**AI と対話して、新たな問いやアイデアを探索する：AI と人が問いを重ね、課題・争点を発見し、新たな戦略を描く**

整理された情報をもとに、AI とチャットで対話ができます。「自社の理念に根差した成長に向け、注力すべき争点は？」「競合が過去 3 年に打った手の成否は？」など、自社と競合の両方の視点から問いを重ね、取り組むべき課題や争点、新たな問いやアイデアを探索します。回答には出典が付き、根拠を確かめながら戦略の仮説を深められます。

生活者発想プラットフォームの新たな機能である「市場洞察 AI エージェント」は、今後、「バーチャル生活者」をはじめとする生活者領域の機能や、BLOOM 各プロダクトとの連携を深め、市場の構造と生活者インサイトを往復しながら戦略を発想する体験の実現に貢献します。また、博報堂ＤＹグループの横断的な AI 専門家集団 HCAI Professionals の活動として、AI 関連各領域のプロフェッショナルが開発に携わりながら、マーケティング基盤を AI とともに生活者の心を動かすクリエイティビティプラットフォームへ拡張し、テクノロジーによって生活者の暮らしや、企業のビジネスを一段と支援してまいります。

［参考］CREATIVITY ENGINE BLOOM とは

2024 年 6 月に博報堂ＤＹホールディングスが開発した、次世代の統合マーケティングプラットフォーム。AI 技術を活用し、STRATEGY（戦略）、MEDIA（メディア）、CREATIVE（制作）、COMMERCE（販促・EC）、ENGAGEMENT（CRM・顧客接点）、領域までをワンストップで統合・管理。AI との共創でインサイトを発見・予測する「生活者発想プラットフォーム」と膨大なデータを一元管理する「生活者 DATA PLATFORM」を基盤として、人間のクリエイティビティを拡張し、クライアント企業のビジネス成長を支援します。



【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂ＤＹホールディングス グループ広報・ＩＲ室　白川・塚田　koho.mail@hakuhodo.co.jp

株式会社博報堂テクノロジーズ 広報担当　hr-koho@hakuhodo-technologies.co.jp